

Q16 参加した感想を、自由に書いてください。

### ① 地域振興とデータサイエンス

- ・いろいろな視点から考えることができ楽しかった。
- ・自分たちで一からスライドを作成し、いかに分かりやすく簡潔にまとめられるかや、聞き手の興味をひくような構成になっているかななどを工夫して考えて作業できた。(3)
- ・プレゼン上手く行ってよかった。
- ・道の駅米沢で得たものを振り返って、グループの中で共有し、米沢のことについて深く考える良い機会になりました。(2)
- ・アイデアが少し多方向に向いてしまったので、もう少し話し合いなどを大切にしていきたいです。
- ・他の班の様々なアイデアを聞くことができ、思いつかなかったような考えが新鮮で面白かったです。(4)
- ・前回までの学習で身に付けたことを今回のアイデアやスライド作り、発表に活かすことができたので良かった。(3) 班の人と協力し合いながら、うまく分担して行うことができた。(2)
- ・楽しかったです。
- ・「データサイエンス」なので、集計したアンケート結果からグラフをつくり、より説得力のあるものを作りたかったなと思った。

### ② 人文学とサイエンス

- ・今回は中国についてのお話をたくさん聞いて、中国は、色々なところから全てが監視されているけれど、その他は本当にすごく自由だとわかって、日本は監視もされないが、すべてが自由というわけではなくて自分で判断することに任せていて、それらの違いが勝手な先入観を生んでしまっているのだとわかったので、中国に行ったら中国に合わせたいし、日本に来たら合わせてもらいたいし、互いがそのような関係でありたいと思いました。(2)
- ・中国の監視システムを知り、中国共産党が国を乱さないための意志がとても強く表れていると感じた。
- ・中国の政治体制、仕組みを今までは共産社会だということまでしか知らなかったため、こんなに管理されていると知って驚きました。中国の方のみならず、文化の違いから起こる摩擦は、きちんと確認したほうが良いと感じました。文化の違いにも興味があるので、学びを深めていきたいです。
- ・日常の生活をしている中でも中国について疑問を感じていたことが多かったため、それを知れて良かったです。(5)
- ・中国の監視システムはすごいと聞いたことがあったが、講話を聞いて、ここまで厳しいものだとは思っていなかったのととても驚いたし、もっと知りたくなった。(17)
- ・怖いイメージがありましたが、今日の話聞いて、共産党が支配をしていて、一般の人々は日本と同じように暮らしていることが分かりました。(2)
- ・異常で行き過ぎにも見える監視社会も、中国人自体はあまり反対運動を起こさないのは、首を突っ込むことへの恐怖だけでなく、根本的に文化が違い、重要視するものが違うということなのだろうと思った。今までは違った文化でもどこかで分かり合えるだろうと思っていたが、途方もなく大きな溝について分かりあうのは難しいように思えるので、知るように努力する、郷に入っては郷に従うというくらいがちょうど良いように感じた。
- ・文化の違いや価値観の違いがあらわになった。(2) グローバル化には、このような違いを認め合うことが必要なんだと再確認できた。(4)
- ・歴史については勉強しても、生活習慣や価値観などについて聞くのは新鮮で面白かった。(5)

- ・日本の常識とはまた違う中国特有の価値観もあるんだと知り、先入観が消えたので良かったです。また、個人情報筒抜けなことについて、少し怖いと感じる部分もありますが、中国という大国をまとめる方法の1つの手段として有効だと考えることができました。

### ③ 教育と科学

- ・授業をするということは、難しいことなんだと実感しました。(2) 真面目にこれからも受けようと思った。
- ・模擬授業を実際にやってみて、いつもやっている先生のすごさを改めて実感することができた。(3) 自分が分かっている、同じくらい人に分かってもらうのは難しいと分かった。これからはもっと分かりやすく言語化できるようにしたい。
- ・自分で授業をつくるという初めての体験で、多くのことを学びました。(4) まだまだ足りない能力をのばしていきたいなと思いました。(2)
- ・一から授業を作り上げていくのはとてもおもしろかった。(3) またやってみたいと思った。
- ・人前で話すのはなかなか思った通りにはいなくて難しいなと思いました。(2) もっと分かりやすく、効率的に準備しなければいけないと感じました。
- ・学びの多い授業になったと思う。

### ④ ライフサイエンス

- ・山形県は全国的な視点から見ると、塩分摂取量が多いということは知っていたが、減塩の取り組みへの関心は薄かった。普段スープを飲み干しているラーメンが、たった1食で1日の必要塩分摂取量を超えるということが衝撃で、今後は留意していきたいと思った。(2)
- ・山形県民の塩分摂取量が他県と比較して多いことは知ってはいましたが、正直想像以上で驚きました。(3)
- ・おいしく、健康的な「食」を目指していきたいです。
- ・今回の講義を聞いて、自分の普段の何気ない食生活が、何十年も積み重なって、自分の体調や健康に関わってくるということを実感した。
- ・減塩に取り組みたいと思いました。(5)
- ・少しの工夫で減塩できることを知ったので、家でもそれを意識できるようにしたいです。(2)
- ・減塩のことについて詳しく知ることができてよかったです。
- ・減塩について目を向けるきっかけになったので良かった。
- ・米沢ラーメンは、健康にはあまりよくない食べ物だと思っていたけれど、食塩やビタミンのところを除いて、意外にも標準的な栄養バランスだと知って驚いた。ラーメンには、ほうれんそうのお浸しがついていることがあるが、あのような出し方はとてもいいと思った。スープはおいしいとかなり飲んでしまいがちだが、塩分過多にならないために、これからは残そうと思った。(2)

### ⑤ 機械・エネルギー工学と社会

- ・今回のFSでは主に実用的な科学技術について教わりました。全体として、価格の設定と実的な要素の2つが上手く釣り合っていないのが現実だと感じました。今後、今ある技術がどの家庭でも使えるようなシステムが大切になってくるのではないかと思います。
- ・とてもおもしろかったです。(4) これからの社会が成長するにあたって、エネルギー問題が発生することを知って太陽光についてや、有機ELの技術についての知識を得られてとても勉強になりました。
- ・山大有機ELの技術はすごいなと思った。
- ・可能性の広がり、サイエンスの面白さを新しい技術、研究室を見学することで知ることができた。

- ・エネルギーについて詳しく知ることができました。(1)
- ・研究をリアルに適用したり普及させたりするのはとても難しいなと未来ハウスを見て感じさせられました。多くの問題を超えて、工学が日常に出てくるのだと実感させられました。
- ・今の技術が実感できたし、その技術を応用することで何ができるのかを知ることができた。また、こんなところでこんな進んだ研究をしているのかと驚いた上に、これからの進歩に期待したいと思った。

## ⑥ デザインと工学

- ・私たちは普段から視覚に頼っていることが分かった。(5) 自分がいつもと違う状況に置かれ、異なる角度で物事を考えることの必要性を感じた。これからの活動で、いろいろなことに興味を持ち、調べたり学んだりしていきたいと思う。
- ・視覚がなくなるだけで、ものの捉え方が大きく変わることを通して、音のデザインの大切さを実感することができた。
- ・音環境という定義が予想以上に広く、個人の状態が深く関係しているということを知り、よく考えてみると、自分にとっては大切なものの音は他よりもよく聞こえて、それは私が「大切だ」と意味づけをしているからだということにも気づき、新たな視点を持つことができ、本当に良い機会になりました。
- ・今まで疑問に思っていたことを、今回の講義で解消できたように感じた。知りたかったことを知ることができて、学びになった。この分野をもっと学びたいと思った。
- ・サウンドスケープの分野で「よい音」は人によって違うから、条件を知ることが必要ということが、すごく納得しました。

## ⑦ マテリアルサイエンスと人間社会

- ・吉田教授のお話で、地球温暖化の話から戦争の話まで全てがつながっていることに気づくことができました。自分で考えて、調べて、見ることの大切さを知ることができました。
- ・複雑な物質も用いて身近に関わる充電池を作れたのがとても面白かったです。(3) また、色素には電子の動きが大きく関わると知って驚きました。身の回りを探して見つけてみたいです。
- ・講話のお話が、資料や絵などを使って構成されていて、問題点がよく分かった。(2) 実験では、内容は少し難しかったけれど、説明もしていただいて、とても楽しく学べました。(4)
- ・現在問題となっている地球温暖化についてより深刻に考えるようになった。(2) また、環境のためにできることをしていきたいとより考えるようになった。実験も講義も面白かった。
- ・電気の流れる仕組みについて知ることができたので良かったです。
- ・実験をして、試行錯誤を繰り返すことがとても大切だということに気づかされました。

## ⑧ バイオ産業科学と社会課題

- ・一から全てやるのは初めてだったのでとても楽しかった。なぜ、このような操作を行うのかという理由や原理がわかり、より面白かった。(3)
- ・どの試薬がどのような役割を担っているのか考えながら実験を行えた。(2)
- ・バイオについての理解がさらに深まり、興味がすごく出てきました。
- ・前回に引き続き難しい内容でしたが、自分なりに調べてしっかり理解したいです。
- ・PCR法、電気泳動を用いて本格的に実験できてたのしかった。(3)
- ・これまでやってきた実験よりも気を付けることが多くて、複雑だと感じた。
- ・PCR法を実際に体験してみて、DNA分解酵素がマグネシウムとくっつくことで働くことにとても驚いた

- ・結果が正常に出なかった。どの工程でミスったのかをしっかりと復習したい。(2)
- ・自分が今まで経験してきた実験の中で、1番気を使って行う作業が多く、新鮮だった。少しでも間違えてしまえば、結果が出ないので、改めてPCR検査などはすごい技術だなと感じた。

#### ⑨ 医療の最先端

- ・ヘルスリテラシーを高めることは大切だと知った。(3) また、情報を得て、誰かの影響ではなく、自分で自己決定をすることを覚えない。
- ・「ヘルスリテラシー」を今日の講義で知ることができました。「意思決定」が大事だということが分かりました。(2) 「予防」が今まで思っていたのとは違い、さらに健康でいれるようにするということが含まれることが分かりました。
- ・ポジティブヘルスについて更に知りたいと思った。そして、ポジティブヘルスが一番重要なのではと考えるようになったので、調べたい。
- ・ヘルスリテラシーを持つことはよりよい生活、医療を受けるために必要だと思った。家族などにも周知し、国民全体で理解を深めることが大切だと思う。
- ・ヘルスリテラシーは自分の健康状態に直結するので向上させていきたいと思います。
- ・最新の機械だけではなく、昔から使われている器具なども知ることができ、とても面白かった。医療と聞いて思い浮かぶのは、手術などだったが、工学も医療の大部分を支えていると分かった。
- ・医工学について詳しく知ることができた。(3) 今までは、医療と言ったら最先端の精密機械を使って治療などを行うものだと思っていたが、昔に使われていたものでも、今も使うことがあると知って驚いた。(2)
- ・なかなか体験できないことを体験できて、おもしろかった。(2)
- ・普段あたりまえに使っている自分の身体も視点次第で興味が湧いた。
- ・工学と医学が合わさった医工学は、アイディアの幅を広げることができたので、学部を組み合わせることが重要だと思いました。
- ・瞳孔の動きを実際に大きく見れて面白かったし、心電図の測り方がわかった。
- ・班で案を出し合った時の課題も、かなり考えさせられる内容で、逆の思考で、体が不自由な人の不便さがよく分かりました。こういうきっかけによるアイディアが世の中を良くしていくのだとすれば、これらの思考を大切にしていこうと思った。
- ・私たちの身体に関する部分や、医学と工学の密接な関係に触れる良い機会になった。専門的なところから身近なところまで知ることができた。